



FARM × STAY 農のある暮らし

家族の枠を超えて 人とつながる農場へ

「田舎暮らしは刺激が少ない」と思われがちですが、ここには世界中から訪れる住み込みボランティアや宿泊者を通して世界とつながることができ、毎日が刺激的ですよ」と陽子さん。ボランティアで来てくれた人の国を訪れ、家に滞在したこともあるそうだ。「海外の農家民宿やレストランは参考になりました。農業のあり方そのものを学ぶことも多かったです」

今年8月には農家民宿の隣にレストランをオープンした。宿泊者や農業体験者に食事を提供する目的だが、地元住民からの声を受け、週2回(木曜日、土曜日)のランチタイムを設けるようになった。提供する食材はもちろん「えづらファーム」でとれたものだ。「家族と一緒の時間を大切にしたい」とはじめた農業。今や家族の枠を超えて多くの人とつながる「人が集まる農場」となった。「これからはもっと地元に戻元していきたくですね。たとえば地域全体がひとつのホテルのように、訪れる人をもてなすような」と江面さん夫妻の笑顔が輝く。二人の夢は、まだまだ広がるばかりだ。

農業にすこし興味が出てきた。でも、今すぐ農家になりたいわけではない。そんな方におすすめなのが、農家の家に泊まって農業体験等ができる「農家民泊」だ。農のある暮らしを、のぞいてみよう。

家族の時間を増やすため 東京から北海道へ移住

江面えづらあきと 陽子ようこさん夫妻は12年前、「家族と一緒の時間を大切にしたいから」と東京での会社員生活に終止符を打ち、遠軽町白滝で農業研修生となった。2年後には「えづらファーム」を設立。現在は、娘の野乃花ののかさんと愛犬・愛猫の3人と3匹家族だ。42ヘクタールの農地では、小麦、てん菜、じゃがいも、スイートコーンなどを育てている。「農業や白滝のすばらしさを伝えたい」と、生産した農産物をインターネットで個人に販売するほか、農業に関心がある人の住み込みボランティアの受け入れ、畑ツアーや収穫体験などの農村アクティビティ、農家民宿の運営など「えづらファーム」の取り組みは多岐にわたる。

農作物を育てるだけでも大変なのに、これだけのことをどうやって回しているのだろう。陽子さんは、「私は主に農業生産とボランティアの方々への指導を、妻は農業のほかに農業体験や民宿の運営や管理、娘もお客さんの出迎えなど手伝ってくれます」と教えてくれた。それぞれができることをやるのが、江面家流だ。



Let's Stay!

えづらファーム

遠軽町白滝北支湧別152-3
0158-48-2050
<https://www.ezurafarm.com>

1棟貸切となる農家民宿での農業・田舎暮らし体験の他、住み込みの農業ボランティアも実施。全国各地から年間80人もの住み込みボランティアと500人ものゲストが集まる。